

公益社団法人 日本顕微鏡学会

# 平成 30 年度事業報告書

令和元年 5 月 14 日

## I. 平成 30 年度事業報告

### 1. 庶 務

#### (1) 会議

- ①第 7 回(平成 30 年度)定時総会(平成 30 年 5 月 30 日)
- ②常務理事会(7 回:平成 30 年 4 月 28 日、5 月 28 日、7 月 21 日、9 月 22 日、11 月 1 日、平成 31 年 1 月 26 日、3 月 16 日))
- ③理事会(7 回:平成 30 年 4 月 28 日、5 月 28 日、7 月 21 日、9 月 22 日、11 月 1 日、平成 31 年 1 月 26 日、3 月 16 日)
- ④学術運営委員会(4 回:平成 30 年 7 月 21 日、9 月 22 日、平成 31 年 1 月 26 日、3 月 16 日)
- ⑤学術運営合同会議(2 回:平成 30 年 5 月 28 日、11 月 1 日)
- ⑥諸委員会、その他の会合の開催

#### (2) その他

- ① 監査(平成 30 年 4 月 26 日)

### 2. 会 員

#### (1) 会員数(平成 31 年 3 月 31 日現在)

- ① 正会員 1,623 名(海外会員 11 名, 永年会員 23 名, シニア会員 37 名含む)  
※支部別正会員数:北海道支部 58 名、関東支部 925 名、関西支部 486 名、九州支部 143 名
- ② 賛助会員 75 社( 135 口 )
- ③ 名誉会員 20 名 ( 海外 5 名含 )
- ④ 学生会員 83 名

#### (2) 会員異動

	入会者数	退会者数	会員資格喪失(会費滞納)
① 正会員	68 名	99 名(永年会員逝去 1 名、 シニア会員 1 名、海外会員 1 名含)	27 名
② 学生会員	10 名	10 名	13 名
③ 名誉会員	0 名	1 名(逝去)	
④ 賛助会員	1 社	1 社	

### 3. 事 業

#### (1) 研究発表会、講習会等の開催(定款第 4 条第 1 項の 1)

- ①第 74 回学術講演会(実行委員長:中村桂一郎)

会 期:平成 30 年 5 月 29 日(火)～5 月 31 日(木)

会 場:久留米シティプラザ

参加者総数:1,232 名

②第 61 回シンポジウム(実行委員長:松田健二)

会 期:平成 30 年 11 月 1 日(木)～11 月 3 日(土)

会 場:富山国際会議場

参加者数:324 名

③第 28 回電子顕微鏡大学(実行委員長:三留正則)

会 期:平成 30 年 7 月 3 日(火)～7 月 4 日(水)

会 場:東京大学本郷キャンパス

参加者数:70 名

④第 29 回電顕サマースクール(実行委員長:寺田信生)

会 期:平成 30 年 8 月 4 日(土)～8 月 5 日(日)

会 場:信州大学医学部

参加者数:56 名

⑤青少年理科授業支援(公益事業企画推進委員会委員長:三留正則)

○実施した主な公益教育活動と参加者数

- |   |                 |
|---|-----------------|
| ・平成 30 年 7 月 28～29 日 青少年のための科学の祭典 2018(科学技術館) | 参加者数:205 名      |
| ・平成 30 年 8 月 1～2 日 経産省「子どもデー」(経産省)            | 参加者数:233 名      |
| ・平成 30 年 8 月 7 日 高校生向けの分析機器体験実習(日本科学未来館)      | 参加者数: 63 名      |
| ・平成 30 年 9 月 20 日 理科授業特別プログラム(日野第七小学校)        | 参加者数: 96 名      |
| ・平成 30 年 11 月 5 日～9 日 東北復興支援理科支援授業            | 参加者数: 5 校 219 名 |
| ・平成 30 年 11 月 10 日 顕微鏡体験教室プログラム(東北大学金属材料研究所)  | 参加者数:43 名       |
| ・平成 31 年 2 月 2 日 電子顕微鏡を用いた特別授業(入間市立金子中学校)     | 参加者数: 78 名      |

⑥市民公開講座(第 74 回学術講演会実行委員長:中村桂一郎)

会 期:平成 30 年 5 月 27 日(日)

会 場:久留米シティプラザ

参加者数:244 名

(2) 調査、研究、見学および視察(定款第4条第1項の2)

i)分科会(9 件)

①走査電子顕微鏡分科会(責任者:米光恭子)

講演会 SCANTECH2018

日程:平成 30 年 8 月 31 日(金)、会場:東京都市大学 世田谷キャンパス

参加者数:179 名

②超高分解能顕微鏡法分科会(責任者:大島義文)

研究会

日程:平成 31 年 2 月 22 日(金)～23 日(土)、会場:日立基礎研究センタ

参加者数:50 名

③SEM の物理学分科会(責任者:熊谷和博)

討論会

日程:平成 30 年 11 月 9 日(金)～10 日(土)、会場:休暇村紀州加太

参加者数:14 名

研究会

日程:平成 30 年 12 月 13 日(木)、会場:産業技術総合研究所

参加者数:100 名

④走査型プローブ顕微鏡分科会(責任者:井藤浩志)

研究会

日程:平成 30 年 9 月 7 日(金)、会場:幕張メッセ

参加者数:24 名

研究会

日程:平成 30 年 12 月 16 日(日)～17 日(月)、会場:湯沢ニューオータニホテル

参加者数:25 名

研究会

日程:平成 31 年 2 月 1 日(金)、会場:大阪大学 東京オフィス

参加者数:25 名

⑤電子顕微鏡解析技術分科会(責任者:丸山秀夫)

夏のフォーラム

日程:平成 30 年 8 月 24 日(金)～25 日(土)、会場:六甲保養荘

参加者数:41 名

フォーラム(夏のフォーラムのフォローアップ)

日程:平成 31 年 1 月 25 日(金)、会場:物質・材料研究機構

参加者数:50 名

⑥分析電子顕微鏡分科会(責任者:治田充貴)

分析電顕討論会

日程:平成 30 年 9 月 4 日(火)～5 日(水)、会場:幕張メッセ

参加者数:120 名

⑦生体解析分科会(責任者:諸根信弘)

ワークショップ

日程:平成 30 年 11 月 10 日(土)、会場:東京大学・武田先端知ビル

参加者数:100 名

モーニングレクチャ

日程:平成30年11月2日(金)、会場:富山国際会議場

参加者数:60名

研究会

日程:平成30年12月26日(水)~28日(金)、会場:ホテルメルパルク松山

参加者数:13名

⑧微生物細胞の顕微鏡解析分科会(責任者:山田博之)

シンポジウム

日程:平成30年11月2日(金)、会場:富山国際会議場

参加者数:50名

⑨電子光学設計技術分科会(責任者:小瀬洋一)

国際シンポジウム

日程:平成30年10月17日(水)、会場:Key West, Florida, USA

参加者数:12名

ii)研究部会(5件)

①その場観察研究部会(責任者:川崎忠寛)

研究討論会

日程:平成30年10月19日(金)、会場:大阪大学 吹田キャンパス

参加者数:60名

②生体ボリュームイメージング研究部会(責任者:太田啓介)

研究会

日程:平成30年5月31日(木)~6月1日(金)、会場:大丸別荘(福岡県筑紫野市)

参加者数:22名

研究会

日程:平成30年7月28日(土)、会場:富士ゼロックス総合教育研究所(神戸市)

参加者数:55名

研究会

日程:平成31年2月22日(金)、会場:久留米大学福岡サテライト

参加者数:63名

③マルチディメンショナルトモグラフィ研究部会(責任者:金子賢治)

シンポジウム

日程:平成30年11月2日(金)、会場:富山国際会議場

参加者数:100名

④様々なイメージング技術研究部会(責任者:山本和生)

研究会

日程:平成30年11月23日(金)、会場:大阪大学 材料開発物性記念館

参加者数:50名

⑤ソフトマテリアル研究部会(責任者:陣内浩司)

講演会

日程:平成30年7月11日(水)、会場:東北大学 東京分室

参加者数:50名

講演会

日程:平成30年11月30日(金)~12月1日(土)、会場:ホテルクレセント(仙台市)

参加者数:50名

(3) 学術誌、学会誌および学術図書の発行(定款第4条第1項の3)

- ① 欧文誌(Microscopy 第67巻:2号~6号、第68巻:1号)6冊 413頁  
平成30年4、6、8、10、12月、各300部発行、平成31年2月 270部発行
- ② 欧文誌(The 61st Symposium of The Japanese Society of Microscopy) 電子出版 49頁  
平成30年11月
- ③ 和文誌(顕微鏡 第53巻:1~3号)3冊 145頁  
平成30年4、8、12月 各2,000部発行
- ④ 会報(和文誌「顕微鏡」と同送)3回 15頁  
平成30年4、8、12月 各2,000部発行
- ⑤ 第74回学術講演会発表要旨集 要旨数507件  
平成30年5月 1,000部発行

(4) 研究業績の表彰および研究の奨励(定款第4条第1項の4)

- ①賞の授与:平成30年5月30日(水)(第74回学術講演会時)

第63回学会賞(瀬藤賞)選考委員会(委員長:小路武彦)

【A: 顕微鏡法基礎部門】

藤田大介

「表面多機能ナノプローブ法と極限計測技術に関する研究」

【C: 応用研究(非生物系)部門】

佐藤馨

「分析電子顕微鏡と低加速走査電子顕微鏡による鉄鋼微細組織解析」

第33回論文賞選考委員会(委員長:保田英洋)

【a: 顕微鏡法基礎部門】

“A new approach for the direct visualization of the membrane cytoskeleton in cryo-electron microscopy: a comparative study with freeze-etching electron microscopy”  
(Microscopy (2016) 65(6): 488-498)

:Masaki Makihara, Takashi Watanabe, Eiji Usukura, Kozo Kaibuchi, Akihiro Narita,  
Nobuo Tanaka, Jiro Usukura

【b: 応用研究(生物系)部門】

“Three-dimensional shape of the Golgi apparatus in different cell types:serial section scanning electron microscopy of the osmium-impregnated Golgi apparatus”

(Microscopy (2016) 65(2):145-157)

:Daisuke Koga, Satoshi Kusumi, Tatsuo Ushiki

【c: 応用研究(非生物系)部門】

“Quantitative analysis of cation mixing and local valence states in  $\text{LiNi}_x\text{Mn}_{2-x}\text{O}_4$  using concurrent HARECXS and HARECES measurements”

(Microscopy (2016) 65(3):253-262)

:Yu Yamamoto, Kunimitsu Kataoka, Junji Akimoto, Kazuyoshi Tatsumi, Takashi Kousaka, Jun Onishi, Teruo Takahashi, Shunsuke Muto

第 15 回和文誌賞選考委員会(委員長:保田英洋)

【d: 和文誌賞部門】

「ストラクチャー解析による結核菌の基礎的形態データとリボゾーム定量」

(顕微鏡 Vol.50, No.2, p.92-97(2015))

:山田博之

第 23 回技術功労賞選考委員会(委員長:立花利公)

【②: 生物系応用研究部門】

青山一弘

「クライオ電子線 STEM トモグラフィーによる厚い切片の高分解能解析」

第 19 回奨励賞選考委員会(委員長:山本剛久)

【Ⅰ: 顕微鏡法基礎部門】

栗原真人

「スピン偏極パルス電子源搭載した透過電子顕微鏡の開発および超高速ミクロスコピー・スペクトロスコピー手法としての実験的研究」

【Ⅲ: 物質系応用研究部門】

石川 亮

「原子分解能 STEM 法を用いた点欠陥構造の研究」

②「長船記念特別研究奨励金」を公募し審査の結果、5名の若手研究者に奨励金を支給した。

(5) 技術向上のための技術認定(定款第4条第1項の5)

① 電子顕微鏡技術認定試験(認定委員長:秋元義弘)

試験日:平成30年10月6日(土)

会場:慈恵医科大学(東京), 京都大学(京都), 産業医科大学(福岡)

申込者数:二級技士(生物)41名、一級技士5名

受験者数:二級技士(生物)38名、一級技士5名(I~IV合計)

認定合格者:二級技士(生物)30名、一級技士4名

#### 4. 支部活動

(1) 北海道支部(支部長:渡辺精一)

支部講演会 日程:平成30年11月24日(土)、会場:北海道大学工学部

(2) 関東支部(支部長:寺内正己)

支部講演会 日程:平成31年3月16日(土)、会場:順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス  
光頭・電顕試料作製・観察実技講習会 各会場(別日程)

(3) 関西支部(支部長:宮澤淳夫)

特別講演会 日程:平成30年11月3日(土)、会場:富山国際会議場

(4) 九州支部(支部長:金子賢治)

支部講演会 日程:平成30年12月8日(土)、会場:熊本大学工学部

#### 5. 関連諸団体との研究連絡および情報交換ならびに協力

(1) 海外連携

- ・IFSM(International Federation of Societies for Microscopy)の役員活動とIMC19  
(19<sup>th</sup> International Microscopy Congress)にブース出展と若手研究者を派遣した。
- ・CAPSM(Committee of Asia Pacific Society for Microscopy)の役員活動
- ・EAMC(East-Asia Microscopy Conference)の役員活動

(2) 国内連携

- ・公益社団法人日本工学会への参画
- ・一般社団法人日本生物物理学会との相互連携
- ・一般社団法人日本解剖学会との相互連携
- ・関係学協会との協賛

#### 6. その他本会の目的達成に必要な事業

(1) ホームページ <http://www.microscopy.or.jp/>

(2) 会員専用ページの運営 <https://www.bunken.org/jsm/mypage/>

#### 7. 諸委員会

- |  |                 |
|--|-----------------|
| (1) Microscopy 編集委員会(委員長:岡部繁男)         | 任期:2020年12月末日まで |
| (2)「顕微鏡」編集委員会(委員長:澤口 朗)                | 任期:2019年3月末日まで  |
| (3) 技術認定委員会(委員長:秋元義弘)                  | 任期:2019年3月末日まで  |
| (4) 第64回日本顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)選考委員会(委員長:寺内正己) | 任期:2019年12月末日まで |



- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| (5) 第 34 回論文賞選考委員会(委員長:齋藤晃)       | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (6) 第 16 回和文誌賞選考委員会(委員長:齋藤晃)      | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (7) 第 20 回奨励賞選考委員会(委員長:大島義文)      | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (8) 第 74 回学術講演会実行委員会(委員長:中村桂一郎)   | 任期:2018 年 12 月末日まで |
| (9) 第 75 回学術講演会実行委員会(委員長:武藤俊介)    | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (10) 第 76 回学術講演会実行委員会(委員長:高井義造)   | 任期:2020 年 12 月末日まで |
| (11) 第 61 回シンポジウム実行委員会(委員長:松田健二)  | 任期:2018 年 12 月末日まで |
| (12) 第 62 回シンポジウム実行委員会(委員長:秋元義弘)  | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (13) 第 29 回サマースクール実行委員会(委員長:寺田信生) | 任期:2018 年 12 月末日まで |
| (14) 第 30 回サマースクール実行委員会(委員長:森本景之) | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (15) 第 28 回電子顕微鏡大学実行委員会(委員長:三留正則) | 任期:2018 年 12 月末日まで |
| (16) 第 29 回電子顕微鏡大学実行委員会(委員長:原 徹)  | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (17) 財務委員会(委員長:牛木辰男)              | 任期:2019 年総会まで      |
| (18) 学術運営委員会(委員長:松村 晶)            | 任期:2019 年総会まで      |
| (19) 表彰委員会(委員長:牛木辰男)              | 任期:2019 年総会まで      |
| (20) 国際交流委員会(委員長:松村 晶)            | 任期:2020 年総会まで      |
| (21) 学会連携推進委員会(委員長:荒河一渡、岩崎憲治)     | 任期:2019 年総会まで      |
| (22) 広報委員会(委員長:小池正人)              | 任期:2019 年総会まで      |
| (23) 将来構想委員会(委員長:田中信夫)            | 任期:2020 年総会まで      |
| (24) 公益事業企画推進委員会(委員長:三留正則)        | 任期:2019 年総会まで      |

## II. 平成 30 年度事業報告の附属明細書

附属明細書に該当する内容はあります。